

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症予防接種後の体調変化に関する 医療提供・相談支援体制について

島根県における相談・診療体制の整備強化にご協力ください

▶ 背景

HPV ワクチン接種後、一部の方に広範な疼痛や運動障害を伴う多様な症状が報告されています。

接種との因果関係が明確でない場合でも、適切な相談支援と協力医療機関を中心とした医療提供を行う体制の構築が求められています。

▶ 島根県の協力医療機関

島根大学医学部附属病院が協力医療機関として、必要な診療・紹介・情報提供等の中核を担っています。

▶ 医療提供体制の強化

- かかりつけ医と協力医療機関（島根大学医学部附属病院）の間での連携を強化していきたいと考えています。
- ブロック拠点病院（岡山大学病院）との情報を共有し、研修会の開催などを行っています。
- HPV ワクチン接種後症状に関する共通理解と診療基準の均てん化に努めています。

▶ 相談支援体制の強化

- 初期対応として、かかりつけ医や保健所が相談窓口となっています。
- 症状の程度に応じて、協力医療機関である島根大学医学部附属病院へご紹介頂ければ適切かつ迅速な対応を行います。
- 相談内容の記録・共有を行い、症状に応じて適切な対応を行うことで、患者の不安軽減につながります。

▶ 医療機関の皆さまへお願い

- かかりつけ医の先生方で対応が困難な場合、HPV ワクチンの協力医療機関である島根大学医学部附属病院（地域医療連携センター 0853-20-2061）にご連絡ください。
- 予防接種健康被害救済制度等の予防接種に関する制度については、県内各保健所にご連絡ください。

患者さんが地域で安心して相談・受診できる体制づくりに、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

島根県薬事衛生課／島根大学医学部附属病院